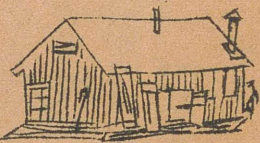


ロズバグ
時報



ロズバグ
日本
日
本
人
の
収
容
所
知
九
日
ニ
日
行
オ
キ
セ
号

件々平議

スタレー山軍奪

彼我両軍の白兵戦
が軍令部発表では日本陸戦隊は
夕に集結して国防軍と白兵戦展開し
多数彼軍奪奪の主眼はゴコタ及び
ビー間の山岳地帯オーエン、スタレー
にあるが全力決戦的衝突は目下迫る

赤軍の防衛陣

スタレー市命脈危か
コロロP. 發電所報、赤軍各部隊は
リシゲラード西北部並に西南部に
シク隊を先頭に熾烈なる攻撃を受け
る。又モスコ西北部は赤軍優勢。
イグランド独逸飛行基地を空襲を効
的なりと発表せり。高架索グロズニ
山軍奪戦は今尚續行中と傳へらる。
今京放送はP. 發電では外務大臣東郷重
氏は一身上の都合に依り辞表提出した

埃及に米軍出動説

カイロA.P. 所報、米軍陸隊は英軍
と相並んで、ローメル將軍のアルキサン
ドリヤ及びスエズ攻略を阻止すべく出
動した

知事高発表

本日知事高よりたの通り発表

角力大會

本曜午後五時より八時まで
△演藝大會
土曜午後五時より十一時まで
第二大隊より東ゲートより出入許可

珍歌

今朝又サリヤ一足捕へ司令部へ
届けたが第十一中隊構内にて
第五足目だ。その毒虫の戸籍を調べ
見ると五千七百十年前から文帳がある。
即ち今日の十二日が猶太人の元日とな
るが文字ありて五千七百〇三年早も
歎が毒なるを傳へた。
旧譯 エゼキエル書に記され又新譯ル
カ傳にも「父たる者誰か其子即ち
求めんに歎を其へんや」とあり。又徳
富基蘆花紀行「都の城の巻」に
「尾崎には蛇あり蝎あり」と書いた
但し九川では蝎をヒラキチとも言つて居る。

猶太人の正月

九月十日は今年初の猶太人暦で
五千七百〇三年の元日に相當する。
人皇二十六年の二月の尊い曆を持てる
日本の紀元より三千年の相違がある
然るに今年猶太人の元日が異なが大
抵天文曆の計算を以て元とする
以上物議帖から抜萃

祝賀刊 山川十一

一片の新報出たり貝割ル乃
ニ季の心とくこれいつくむ

ウイリキ氏の使命につき

過日のメリー、ゴリラのドに曰く、山
ゲルウイリキが露支近東旅行を
ロズベルトと仕度した内情をスッパ
抜がんに、是れはウイリキから大統領
へ相談を持ちかけたものである其處で
大統領は特使の資格を其へんとした
が、尤も大統領としてはウイリキが其の
訪問する国で或る事を為さんとするに
とを好むと言ひ、其の事の性質は秘密
であり而して半外交的のものであるから
新聞などで発表を避けてゐる。
ウイリキ氏は大統領と懇談の上旅に上り
明日カイロ方面に到着すると本朝放送

女子藝作品

一 茲はロズバグの大砂漠
二 敵国人の名のトイ
三 監禁ヤレし夜の燈
四 北はアラソカ南は布哇
五 全アメリカより集い来て
互に難題助け合ひ
忍びませよ最後まで
三 中天高く雲を見お
四方は沈たる大平地
鉄をも溶かす炎熱は
砂塵の嵐空を激ふ
四 殺風景な生路は
各自奉仕の同胞は愛
一糸乱れぬ自治制は
諷笑高く和氣に充ち
五 やかては来る春の日は
野にも山にも花を咲き
自由の鐘が鳴るときは
嬉しや妻子と手を握り
六 雄々しくも起ち上る
我が同胞の鐵腕は
開放されし新天地
進み行かす大和魂
箴言 智慧ばかりでは冷たし情流る

